



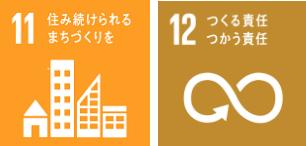
この挑戦が、未来となる。

ちゅうきんフィナンシャルグループ

NEWS RELEASE



Cキューブ・コンサルティング



2026年1月30日

セリオ株式会社

島田治男建築設計事務所

株式会社荒木組

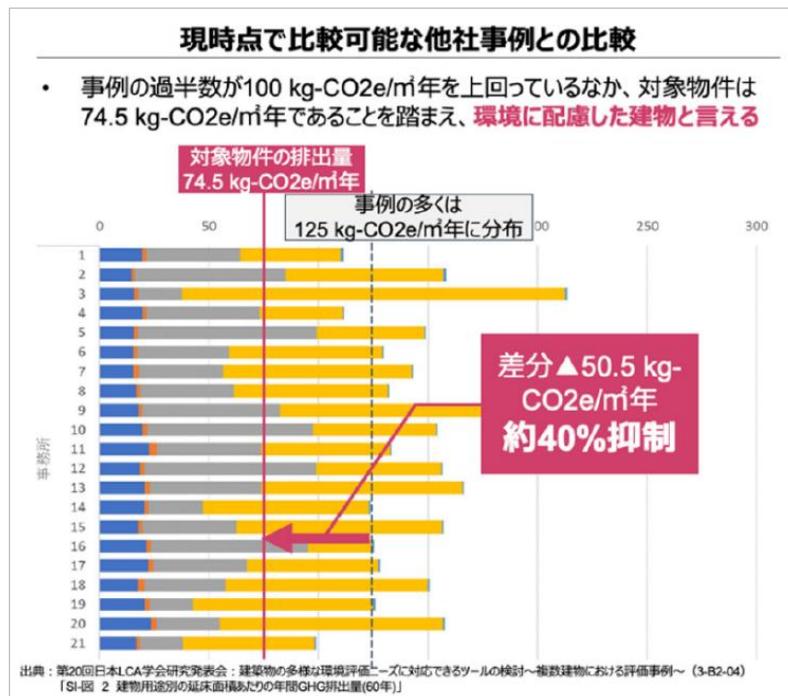
株式会社Cキューブ・コンサルティング

岡山県産 CLT 材を活用した新社屋の建築物 LCA 算定により、環境価値を「可視化」 比較可能オフィスビル事例との対比で GHG 約 40 %抑制に成功 ～「建てる」ことで地域貢献を。岡山の森林資源循環モデル～

セリオ株式会社（岡山市 代表取締役社長 本郷 旬）、島田治男建築設計事務所（香川県
綾歌郡 所長 島田 治男）、株式会社荒木組（岡山市 代表取締役 荒木 雷太）、株式会社
Cキューブ・コンサルティング（岡山市 代表取締役 西原 立）は共同で、2025年6月
に竣工したセリオ株式会社の新社屋における「建築物 LCA^{※1}（ライフサイクルアセスメン
ト）」を算定しました。

その結果、岡山県産の認証木材^{※2}（CLT^{※3}）の積極活用や省エネ設計により、当ビルの
GHG（温室効果ガス）排出量は 74.5 kg-CO₂e/m²年となり、比較対象のオフィスビル
事例（約 125 kg-CO₂e/m²年） 対比で約 40 %の抑制に成功していることが判明しまし
た。

本取組みは、再造林率の低迷に悩む岡山の森林課題に対し、「木を使う」ことで貢献する
モデルケースとなります。



■算定結果の詳細

【新社屋の概要】

所在地	岡山市中区原尾島3丁目16番4号
用途	事務所
構造	木造(CLTパネル工法) 一部 鉄骨造
延床面積	1,830.31m ² (うち建築物 LCA 算定対象:本館 1,423.15m ²)
建築主	セリオ株式会社
設計	島田治男建築設計事務所
施工	株式会社荒木組
スケジュール	2025年6月竣工



【建築物 LCA の算定結果】

算定ツール	J-CAT ^{※4}
評価手法	標準算定法
評価期間	60年
GHG 排出量	74.5 kg-CO ₂ e/m ² 年

※¹ 建築物 LCA・・・製品やサービスの原材料調達から製造、使用、廃棄・リサイクルに至るまでの全過程における CO₂ 排出量を総合的に評価する手法

※² 認証木材・・・FSC（森林管理協議会）などの第三者機関が、環境保全や持続可能な森林経営（植林・伐採管理、地域環境への配慮など）の基準を満たしていると審査・認証した森林から生産された木材

※³ CLT・・・ひき板を繊維方向が直交するように積層して接着したパネル

※⁴ J-CAT・・・ライフサイクル全体で排出される CO₂ 量を定量的に評価するために国土交通省の支援のもと、産官学連携で開発・公開されたツール

以上

本件に関するお問い合わせ先 (TEL 086-223-3110)

株式会社 C キューブ・コンサルティング

業務部 平宅 (TEL 086-225-0565)

株式会社中国銀行 広報センター 岡嶋 (内線2255)